

会 議 録

会議名		令和 6 年度第 3 回図書館協議会			
事務局		図書館			
開催日時		令和 7 年 2 月 1 4 日（金） 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 4 7 分			
開催場所		図書館 集会室			
出席者	委員	大串委員、関本委員、白井委員、岡田委員、小林委員、藤森委員（オンライン）、林委員（オンライン）、伊東委員（オンライン）			
	欠席者	北澤委員、清水委員			
	事務局	内田図書館長、吉田庶務係長、香川奉仕係長、田中分室長、田邊主事			
傍聴者の可否		可		傍聴者数	0
傍聴不可・一部不可の場合はその理由					
会議次第		1 議題 (1) 図書館協議会の会議録の承認について (2) 視察について (3) その他			

【大串会長】 それでは定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第3回小金井市図書館協議会を開催します。

ここで一言私から。午前中に四者協議会に御出席いただいた方、どうもお疲れさまでございました。とりとめもないと言えどとりとめもないし、真面目なところは真面目な議論をされたなという感じではあったんですけども、お互いにどういうことをやっているのかが分かって非常によかったと思います。

では、図書館長から挨拶をお願いいたします。

【内田館長】 着席で失礼いたします。

本日、御多忙のところ、特に午前中から御出席いただきました皆様には引き続きお集まりいただき、誠にありがとうございます。

前回の協議会で報告させていただいておりますが、こがねい電子図書館の中学校ノートパソコンへの導入に関しまして、2月5日から運用を開始させていただいております。従来、電子書籍を御利用いただくには利用者カードを作成いただくなくてはならなかったんですけども、今回の取扱いによりまして、市立中学校の生徒さんであれば誰でも電子図書館を御利用いただけるようになっております。なかなか図書館に足が向かない、あるいは向けられない生徒さんもいらっしゃると思いますが、お手元のパソコンで読書ができるようになりますので、読書のツールの一つとして、今後御活用いただければと思っております。なお、運用開始から今朝まで219件アクセスをいただいております。

それと、西之台会館のエアコン修繕工事です。現在、西之台図書室のみ午後の時間帯に開館させていただいておりますが、3月1日以降、従来どおりに午前10時から午後5時まで開館させていただく予定となっております。

本日も御意見等賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以上です。

【大串会長】 どうもありがとうございました。

それでは、出席者及び資料の確認について、事務局からお願いいたします。

【内田館長】 本日の出席者について御報告いたします。本日は委員数10人中8人の御出席で過半数を超えております。

続きまして、資料の確認をお願いいたします。お手元の次第に本日の会議の配付資料一覧を記載させていただいております。また、前回の協議会后に意見シートが提出されておりますので、こちら委員のみ参考資料として配付しております。

資料の不足がございましたら、事務局にお申出ください。

特にならうでしたら、ここで、意見シートを御提出いただいた場合の取扱いについて、改めて私のほうから説明させていただきます。

令和5年11月28日に開催いたしました協議会におきまして、意見シートに関してはまず事務局でお預かりをさせていただきまして、協議会で御協議いただくことが必要であるかどうかを図書館長のほうで判断させていただき、必要であると判断した場合は議題とさせていただくこと。また、議題としないまでも参考にとということで、こちらも図書館長の判断で、協議会委員の皆様に参考に配付、お配りさせていただくということで御了承いただいております。

このたびの意見シートに関しては、電子書籍に関してというところで2枚出されているんですけど、1枚に関しては御質問、1枚は御意見、御要望と受け止めております。いずれも、議題とまではせずに参考に配付をさせていただきました。

なお、御質問の趣旨としては、児童生徒向けの電子書籍を選ぶに当たりまして有害図書のチェックの仕組みがどうなっているのかということ。それから、利用者からそういった意見を聞く機会があるのかなのか、有無といったところになると思います。

こちらについては、この場をお借りしてお答えさせていただきたいと思います。奉仕係長のほうから説明させていただきます。

【香川奉仕係長】 電子書籍の選書についてお答えいたします。

電子書籍の選書も、紙の図書と同様に選書基準を準用しております。また、購入に当たっては事前に職員が、さっさとすけども目を通して選書しております。

今回、開始に当たりまして全市立中学校に訪問させていただきました。電子書籍の使用をまず説明させていただくとともに、実際、現場ではどういう本が読めますかというような意見を伺って、提案された御意見を参考に、今回、電子書籍の読み放題、こちらも選書させていただきました。

今後なんですけども、毎年、新1年生分の電子書籍専用の番号を付与することもありますし、使用状況ですとか意見を各校に出向いて伺いたいなと思っております。試行なんですけども、第二中学校の図書委員の皆さんから意見を聞いた経緯もありますので、各校の先生と相談しながら、生徒さんの生の意見を聞く場も設けていただければ設けていただいて、情報収集等させていただければと思っております。

説明は以上となります。

【内田館長】 以上となります。

会長、よろしくお願いいたします。

【大串会長】 今の御説明に対して何か質問はございますか。

電子書籍の収集の問題については、あとは使い方の問題というのは（音途切れ）がないんだけど、パソコンの。ただ一応、こういうネット上の情報に関するプライバシーの問題とかいろいろな問題というのは、小学校の教科書を見ると道徳の時間に何度かやっているんですよね。だから、一応それは実はやっぱり親御さんにもちゃんと理解しておいてもらったほうがいいと思うんだよね。

1995年に僕はアメリカのボストン、学生の指導についていって、その関連で図書館も見回ったんですけれども。児童図書室、児童室にパソコンがずらっと並んでいて、どう使っているのかなと思って見ていたら、ちゃんとパンフレットとかリーフレットを作って、親がちゃんと指導しろと書いてある。親御さんに対するパソコンの使い方とかSNSだとかプライバシーの問題、ちゃんと図書館で説明会みたいなものを開いているということをやっていました。それで、ああ、なるほどこういうことやっているのかと思って。

日本の場合は、学校で結構きちっとおやりになっていただいているんですけれども、やっぱりそれも御家庭のほうでもきちんと理解していただいて、子供たちがパソコンを扱うのをやっぱりちゃんとチェックしていただいたほうが僕はいいと思うんだよね。

あと何かございますか。御意見ですね。はい、どうぞ。

【岡田委員】 今日はこの後、電子書籍の話は出てこないですね。

【大串会長】 ああ、そうですね。

【岡田委員】 なので、ちょっと今お話を伺いたいと思うんですけれども。

私は学校図書館関係の者で、中学校のほうの2月に導入されてからの状況を、ちょっと確認というか現場で聞いてみたんです。やはり、このタイミングだと3年生が受験だったりとかで、ID・パスワードを配付するというのがきちんと子供のほうで理解し切れるかという結構難しい部分があったりして、先生方も、学校によっては慎重で、来週中配付するという学校もあるような状況と伺っています。

最初にその本のリストを見せていただいたときに、朝読書のものとかを入れていただいていたかと思うんですけれども、今年度に限ってなのかこれから考えていくのか分かりませんが、現状としては朝読書では、タブレットを出して、要するに全員同じ場所に保管してあるので、その充電してあるところから取り出して起動して、じゃあ自分のタブレットを立ち

上げて、そこでどの本だっけとやっていると朝読書の時間は終わっちゃうというふうに聞いているんですよ。

なので、今のタイミングであるところと2月で導入されたのは、まあ利用が219件あったということなのでうまく利用できている生徒もいるのかなと思うんですけど、まだ難しいのかなと思っています。だから、次年度以降で学校のほうでどのように扱っていくかというのをきちっと考えていかないと、なかなか思っているようには利用が進まないんじゃないかなと思っているので、その辺が課題というか問題点になっていくのかなと思っています。

何か報告になってしまいましたけど。

【内田館長】 ちょっと一言だけ。

今、岡田委員のほうから御報告ありました、朝読書の時間がなくなってしまうのではないかと、先行市の事例なども交えて、私、各校に説明に伺ったときにそこも話してあります。開始時間が過ぎてからパソコンを開いて読書の本を探してという時間がなくなってしまう可能性があるから、先行市などでは、電子書籍を読まれる生徒に関してはもうその時間前から開いてやっているような取組とかもございますのと。ただ、どういう形の運用にするかというのは、そもそもパソコンは学校の判断になりますから、一応紹介はさせていただいたつもりではおります。

以上です。

【岡田委員】 ありがとうございます。

今年度に関してはちょっとまだ朝読書でタブレットを使っていいようにはしていない学校が多いそうなので、そういう運用になっているのかなと思うんですけど、次年度以降で少しでも読める生徒さんが増えるといいかなと思っております。

【大串会長】 ありがとうございます。

中学校は今週ぐらいから期末試験なので、だからその後になるようにしている学校もあるのかな。

ほかに質問、御意見ございますか。

【岡田委員】 質問なんですけど。

【大串会長】 はい、どうぞ。

【岡田委員】 その中学校の全校にID・パスワードを配付したということであれば、例えば、登録した生徒の人数分というのは、今年度、利用登録が増えたという形になるんです

か、先ほど配付して利用できるような状態にしたとおっしゃっていましたが、利用者が単純に増えたということになるのかどうかを伺いたいなと思ったんですけれども。

【香川奉仕係長】 今回の電子図書館専用のＩＤに関しては、ほかの利用カードを使ってのものとはちょっと異質なものになります。今までも電子図書館を使用開始にしてから統計上の利用者というのはあくまでも利用者、登録した人ではないんですね。登録者だと、もう既に何万人とこのカードを持っている人がいるので、おのずとそこが利用者になってしまいうけれども、利用した人でなければ意味がないので、今回配付しましたけれども、統計上も利用した人数をカウントしていきます。登録人数ではございません。

以上です。

【岡田委員】 ああ、なるほど。ありがとうございます。納得しました。

【大串会長】 ありがとうございます。

ほかにはいかがですか。なければ次に進みたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

なければ、その次の図書館協議会会議録の承認についてを議題とします。

事務局から説明をお願いいたします。

【内田館長】 令和６年度の第２回の会議録を委員の皆様にご覧いただきお配りしているんですが、大変申し訳ございません。事務局が見落としまして、一部御指摘いただいたところが修正されてなかったようですので、こちらで取りまとめさせていただいて修正、次回、改めてもう１回かけさせていただきたいと思います。

【大串会長】 ありがとうございます。

【白井委員】 回収されるんですね。

【内田館長】 よろしくお願ひします。すいません。置いておいていただければ。

【大串会長】 それでは次の議題で視察について、これを議題としたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

【吉田庶務係長】 視察についてということで、次回以降の視察について。まず第一段階。期でいくと今回は第１８期で、皆さんの任期が１０月末までとなっております。１９期が令和７年１１月１日からということになっております。今までですと大体その期の中で１回は視察になるべく行くような形にしております。ちょうど年度が切り替わってしまうので、新規の１１月以降の次期の方で視察に行くか、あるいは今期で今の時点の早い段階で、具体的には５月とか６月とかで視察に行くかを、まず議論していただければと思います。

今期は1回、先日、アキシマエンスの視察をさせていただいているという状況でございます。

【大串会長】 皆さんいかがでしょうか。もう1回行くのか、それとも行かないで、来年度は次期の方々に行っていただくかということなんですけれども。

ちょっと質問なんですけれども、視察したことについて事務局としては何かレポートか何かをまとめているんですか。

【内田館長】 前回の協議会で一応事務局サイドがまとめた報告書のほうは皆様にお配りさせていただいておりますので。もしそこに対して何か感想というところまでやるのであれば、またあれですけども。特にそこまではいつもやっていないんですが。

【大串会長】 そうそう、今までは例えばこの中で感想を言い合うとか、そういうのはなかったよね。

【内田館長】 なかったんです。ですから、一応今回、我々のほうでその報告書みたいなものは前回お配りしているということです。

【大串会長】 たしか僕は最初に協議会委員になったときに視察のことをすっかり忘れていて、ほかに予定を入れてしまって視察に行かなかったということがあって、それですっかりそのときはスルーしてしまったんですけれども。

やっぱり一応視察をした後、何か特に感想があれば言っていたくといいいんじゃないかなと思いましたけれどもね、それはともかく。

どうですか。どうしてもどこかを見たいというのがあれば、今期にあと1回行くのもいいと思いますけれども。特にないようであればなんですけれども、どうですか。この辺で話題になっているのは、多摩が新しい公園の中に造った。視察に1回、建築家の方と一緒に見させてもらいましたけど。

特に御意見がなければ次期の方に行っていただくということになるんですけれどもよろしいですか。何かありますか、どこか見たいところ。行きたい？ 清瀬さんが見たいとか、そういうのはあったりするんですか。（音切れ）何かどこか行きたいところがおありなんですか。

【岡田委員】 今おっしゃったところに行きたいです。

【大串会長】 ああ、多摩ね。

ほかの方はいかがですか。

公園の中、公園の斜面に造ってあるんですね。一番上が公園の向こうの（音途切れ）

ところ、向こうが見通せるという、ちょうど目線で見通せるような（音途切れ）。建築家のお話を聞いたら、ちょうど1か月前に市長が見にこられて、公園との連携が全然取れてないじゃないかと。つまり、建物的な点ではいいんだけど、図書館のサービスという点から見えていないんじゃないかということを市長がおっしゃったということで、図書館側が大急ぎで公園側のテラスの向こう側に、子供たちが入ってくるときに写生とかができるという丸い場所をつくったと。そういうことを建築家の方がおっしゃってましたけど。

もう一つ、あそこを造るときに取りまとめをしたのは、僕も一緒に図書館がテキストを書いたんですけど。広場という考え方なんです、図書館の中の空間を。それで、だだっ広い広場みたいに考えるというつくりで。だから、ちょっと今までの図書館とまた違った感じの図書館ではあるんです。

特になければ、次期にもしなれば。

【白井委員】 どこに行きたいというのはなくても、前回は決まるまで時間がかかりましたよね、何回かもめましたよね。ですから早めに、もういつ頃がいいというのを決められたほうがいいのかもかもしれませんね。

【内田館長】 それで実は今回諮らせていただいている状況でして、ちょっと早めにと思っています。ただ今、吉田から説明がありましたように、来年皆さん改選がある中で、年度の途中で皆さんが切り替わると。つまり、年度で1回分しか予算がないので、皆さんが行かれると次期の方が来年度に行かないという、そこがあるので諮らせていただいたところです。もし行かれるのであれば、それはそれでちゃんと準備しますし、ただ来期に送ったほうがいいのではないかとということであれば、もうそれはそれで来期で我々は諮る形かなと思っています。そこをまずお決めいただいた上でと思っています。

【大串会長】 たしか、僕が最初ここにお世話になったときに行ったのは、小金井市内のいろんな施設を見て回っているの。私はそれを聞いて、しまったと思ったんですけど。やっぱりいろいろと小金井の特徴があるので、そういうのを把握するといった意味では見て回るのはいいなと思った。

それと、今日も午前中の会議でいろいろ話が出て聞いたんですけども、図書館に関連する施設があるんですね、いわゆる博物館とか公民館とか社会教育施設とか。そういったことも、どこにどういうものがあるのか見て回るというのもとてもいいことで、この前行ったあそこも有名な施設なんだけど、あんまりあそこは訪れる人がいないんだという話をお伺いして、ああ、そうなんだと思ってね。あその、何という方だったかな、あの人の書いた小

説ですかね、本があるんですよね、「次郎物語」という。

【内田館長】 下村湖人ですね。

【大串会長】 下村湖人。あれ、僕の田舎のほうも関係してる。

【内田館長】 そうですね。

【大串会長】 それで、下村湖人の「次郎物語」なんて僕が小さい頃から二度か三度読みましたね。最後のほうはやっぱり社会教育の話になったね、あれ。それで、彼はその当時、ここに来られて仕事をされてた。当時の社会教育の考え方とは相入れないところがあって身を引いた、ここから去ったということをどこかで読んだ記憶があります。それで、やっぱり彼はそういったところを書いているんだよね。僕は小さい頃だったので分からなかったんだけど、今、読み返してみると何か非常に意味深長なところがたくさんあって、ああ、なるほどと考えさせられるところがたくさんあるようなそういった方で。もっとたくさんの人に行っていただきたいなと個人的には思いましたけど。

では、次の方々にということできたいと思います。

次は、その他ということで進めてよかったですか。

【内田館長】 はい。

【大串会長】 では、その他というところで話を進めたいと思います。

では、事務局のほうからその他の説明を、何かございますか。

【内田館長】 以前、事務局のほうから提案される議案以外に協議会で意見交換を御希望されるようなお声があったと思っております。その部分で事務局から委員提案の段取りを説明させていただこうと思いますので、庶務係長のほうから説明させていただきます。

【吉田庶務係長】 通常ですと、こういった形で議題として事前にお配りをさせていただいております。それ以外で、委員の方から議題テーマについて提案がある場合の事務的な手続上のお願いというかやり方について提案をさせていただきたいと思います。

まず、提案していただくに当たって、期限についてです。次の開催日の10日前までに事務局宛てに、その議題としたいテーマとその理由についてレポートのような形で、様式は特に任意で構わないんですけれども、メール等で提出をしていただきます。事務局のほうで頂いたものをまとめさせていただいて、開催前に事前に委員の皆様を送らせていただきます。基本的にはメールで送信ということになります。それで確認していただいて、次回の協議会において協議をしていただいてテーマとして取上げるかどうかを決めていただき、テーマとして取り上げるとなれば、そのまた次の回のときに議題として取り上げて協議をしてい

ただくという流れになるということでお願いできればと思います。

流れとしては以上でございます。

【大串会長】 ありがとうございました。

それで、すっかり忘れてしまって申し訳ない。オンラインの方に今までのところで御意見を頂くことを忘れておりましたので。今のことも含めていいと思いますけども、オンラインの方でもし御意見があれば、あるいは質問があれば出していただくというふうにしたいと思うんですけど。すみません、すっかり忘れてしまいました。もし御意見とかそういうのがございましたら、あるいは御質問や何かありましたらよろしくお願ひしたいと思います。いかがでございましょうか。

【藤森委員】 ちょっと質問よろしいですか。

【大串会長】 どうぞ。

【藤森委員】 これから先の大まかな予定というものが分かっていると、優先順位が分かって、それで視察をするかしないか考える一つの基準になるかなと思うんです。とても大切な議題がある場合は、やはりそちらに重点を置かなくてはいけないと思いますし、そうではないという言い方はおかしいんですけども、1年間に4回、あるいはできても5回ぐらいしか会議が開けないという状況（音途切れ）ますと、（音途切れ）ある日が限って議論、会議が開くことがなかなか難しくなると思いますので、今年1年間、大切な議題となるようなことがあるのかなのか、それをちょっとお聞きしたいと思います。

【大串会長】 ありがとうございます。

ちょっと音声途切れてしまったんですけど、要するに、まず最初に来年度の議題になるような、議論しなくてはいけないような、あるいは我々に聞くような、あるいは説明するような、そういったものがどういうのがあるのかということ、事務局からまず言うていただくということですね。

【藤森委員】 はい。

【大串会長】 では、ちょっと事務局のほうに御説明いただきます。

【内田館長】 令和7年度、今年の4月以降からの1年間に関して今、明らかにあるというところていくと、子ども読書活動が更新の年に当たっていますので、その議論はしていただく形になると思っています。ただ、これ以外はもう随時ということで、昨年1年やってきたようなことを随時やっていく形かと思っています。

令和8年度に関しては、令和9年度以降、図書館基本計画の更新があり、その準備に充て

たいと思っておりますので、そちらに関しては結構大きなものになるかなとは思っております。ですから、令和7年度は比較的落ち着いているといえれば落ち着いているところかとは思っております。

以上です。

【藤森委員】 分かりました。ありがとうございます。

【大串会長】 伊東先生、いかがですか。

【伊東委員】 今日はちょっと体調が悪くて、風邪を引いてしまいしてそちらに行って御迷惑かけると申し訳ないということで、オンラインで参加させていただいております。申し訳ありません。

私は特に電子書籍に関しては大変感謝しているところでございまして、今、総合的な学習の時間ですとか探究的な学びというものが学校教育の中で導入されていますが、個別最適な学びということでいくと、図書館、学校図書館に行かなくても教室の中で図書を端末から使えるということで、そういう学習に資するような書籍を電子の形で入れていただけるとありがたいかなと思っております。

もう1件は、読書離れというものがやはりある意味では深刻な問題なのかと思うんですけど。これは学校図書館と公営の図書館との連携が非常に重要であると言われておりますので、学校図書館と市の図書館とのつなぎ役として、電子書籍の導入というものをアプローチとして考えていただくことも一つの考え方かなと思っております。これが1点。

あとの1点は視察に関してですけれども、私、今まで視察に1度も行かせていただいたことは、ちょっと日程上の都合で行ったことがないんですけれども、もちろん重要なことかと思えます。だけど、何のために視察をするのかということをやはりよく事前に確認して、（音飛び）視察をした（音飛び）図書館運営に反映（音飛び）視察（音飛び）ていくのが（音飛び）という話に（音飛び）。

すいません、以上です。申し訳ありません。

【大串会長】 すいません、伊東先生、視察のところが音が切れてしまってほとんど、誰のために視察をするのかまでは分かるんですけど、その後はちょっと聞こえませんでしたので。ちょっと途切れ途切れになっちゃいましたけど。

【伊東委員】 今は聞こえていますでしょうか。

【大串会長】 今は聞こえています。オーケーです。

【伊東委員】 すいません。

視察の目的というものをしっかりと確認（音飛び）の図書館として視察する意味のある場所を選んでいくことが必要かなということ。それから、視察をした成果を図書館運営に生かせるような形につなげていくということが大事なのではないかなと考える、当然、当たり前のことなんですけど、そのぐらいのことしか言えないので。申し訳ありません。以上です。

【大串会長】 ありがとうございました。

それで次に、申し訳ないですが、今度は藤森さんのほうに戻りますけど。応先ほど日程を確認しましたがけれども、その後、今度は次の御意見が藤森さんがおありじゃないかと思いますので、その辺を言っていただく必要があるかなと思ったんですけれども、いかがでございましょうか。

【藤森委員】 本当の希望を言えば、図書館協議会は大変重要な協議会だと思っておりますので回数を増やしたいと思っておりますが、今のところそれは無理なんだとしたら、開催の日時の決め方をもう少し早めに調節していただけたら大変ありがたいと思っております、庶務の方が大変お忙しく御苦勞なさっているのは重々分かっておりますが。ちょっとばたばたしちゃったりとかして伺えないこともありますので。先生方、皆さん、お忙しくて大変だと思いますが、なるべく早めに決めていただけたらありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

【大串会長】 ありがとうございました。

今のことについて事務局は何かございますか。

【内田館長】 すいません。

以前、年度当初に我々のほうからこの日ということで一応年間予定ということで月日を出させていただいて。ただ、そのときの協議会がいつだったか忘れたんですけれども、協議会において委員の皆様のほうから、なかなか先の予定が見えないところもあるから都度都度で調整してくれというお話が実はありまして。それ以降、今の形に変えさせていただいたんですが。ただ結果として、やはりなかなか皆さん集まらない、過半数集まることがなかなか難しいところがある中で、ちょっと我々も困難になっている次第です。

予定が見えない中でもこちらの予定を年間で一応押さえさせていただいた上で、その日が来たらどちらが優先なのかと皆さんで決めていくか、あるいは今のまま、直前に調節していただかないと皆さんも予定が分からないというところもあると思うので。どちらかにしていただくと決めていただいて、それでもう御理解いただくしかないと思っています。改めてこの場で決めていただくか、今までどおりでということにするか、皆さんにそこは委ねさ

せていただければと思うんですが。

【大串会長】 ありがとうございました。

いかがですか、協議会によっては日程調整が非常に難しいということで夜間開催、6時とか7時の開催というのがあるんですよね。ただ、遅いとやっぱり帰りがあれになるし暗くなるというのもありますし。ちょっとその選択は外したほうがいいかなと思うんですが。いずれにしろ皆さんお忙しいので、ある意味では最初にこの曜日は駄目だとかこの時期は駄目だとかそれを一応出していただいております、その後それを見ながら勘案すると。できるだけたくさんの方が御出席いただける日時を設定するしか手がないかなという感じがしますけど。

視察についてはどうですか。今年度じゃなくて来年度の5月か6月頃やるというのと、次の委員の方々に行っていただくという2つなんですけど。伊東先生もいかがでしょうか。

特になければ——どうぞ。伊東先生、何かおっしゃいましたか。

【吉田庶務係長】 特にありませんということでおっしゃっていました。

【大串会長】 ああ、そうですか。

一応、先ほど決めたように、次の方に行っていただくということで。あと伊東先生のおっしゃるように、何のために視察するのか、場所、視察の成果を共有するあたりもちょうとまた考えたいと思います。

それで次に先ほどの、ここでの協議のときに、委員のほうから希望するテーマを出してその内容について話し合いを持つといったことについてですけれども。一応、先々回か先回に、そういったいろいろなテーマがあるからということなんですけれども。一応、我々が協議している小金井の事業内容、サービス内容、小金井の図書館の考え方というよりはサービスの方針、そういったあたりもさらに深掘りしたいという、さらに詳しく我々としては検討してみたいとか、そういうようなことであれば積極的に出していただく必要があるのかなと。例えばそういうことから離れて、今の日本の図書館の現状とかその考え方だとか、それから海外の図書館の事例だとかそういう話だと、ここの協議会の趣旨からいってもちょっと外れていく。

やっぱり今の小金井の図書館のサービスということで、例えば学校図書館との連携とか、そういったあたりでももう少し中身的にいろいろと聞いてみたいとか検討してみたいとか。それから、今日も4者協議会で出たんですけども公民館との連携。それから、さっき僕も触れた博物館関係の施設との関係とか。あそこに江戸東京たてもの園があるんですけども、あ

そことの関係はほとんどないというお話が4者協議会の中で出たんですけれども。あれは、東京都は東京都だというんですけど。でも、あそこにああいうのがあって、僕は江戸東京博物館の非常勤研究員をやっていたものですから、そうか、そうだよな、小金井との連携というのはやったことないなと思ったんですけども。やっぱりあれが小金井市ともうちょっとちゃんと連携すると、江戸東京たてもの園のサービスだとか教育的な活動の内容も、もっと高まるのではないかと僕は思っているんですよね。突然思ったのではなくて前から思っていたんだけど。だからそういうようなことをね。

国際子ども図書館というのが上野にあるでしょう、あそこは調べ学習の部屋をつくったりいろいろやっているんですけども、それを台東区の子供たちにいろいろと使ってもらいたいという希望があったんだよ。それで台東区にいろいろと話を持っていったら最初は断られちゃって。でも最近、台東区のほうでも、せっかくああいう施設があるんだから、それを我々としても使ってみたい、あるいは生徒たちに使わせてみたいとか、そういう話も少し出てきている。いいかなと思うんですけどもね。

何かありますか。

【岡田委員】 ちょっと話が戻るようなんですけど、理解不足だったら申し訳ないんですが、先ほどの視察の目的・成果というのは伊東先生がおっしゃったとおりで、ではアキシマエンスの成果というのは、本当に理解不足だったら申し訳ないんだけど、いつ表れて、どこがそうだというのは、どの段階で教えていただけるのかなとふと思いました。これがこの成果なんだよというのが目で見て分かる状態ってなかなか一般市民には難しいと思うので、報告書じゃなくて、その具体例としてそれがこうなっているというのを教えていただけるとありがたいと思います。それが1つ目です。

2つ目としては、先ほどの学校図書館と公共図書館の連携といった場合に、やっぱりどうしても縦割りで考えられているところがすごく多くて、公共図書館でせっかく動いたということが学校図書館に伝わることはほぼないに等しいかなと思うんですね。やっぱりその命令系統、指示系統が違うというところもあると思いますので、そこはしっかり連携できるようなシステムといいますか、ここから話が伝われば絶対現場にも来る、その逆もあるというのが、もうちょっと形になったらありがたいなと思いました。

3つ目なんですけど、先ほどの江戸東京たてもの園とかである場合は、必ず小金井市の小学生はたてもの園に勉強しに行くわけなので、学校としては連携しているつもり、取れていると思うんですね。ただそこが、じゃあ具体的な資料というと、そこのパンフレット、リー

フレットであったりとか、あと昔の道具の学習のときに連動して、国語だ社会だといったときに浴恩館の資料を見せていただくというがあるので資料館とはつながっている。学校と資料館がつながっている、学校と公共がつながっているという、結構別々に、ここもやっぱり縦割りの部分かなと思うんですけど、その辺の連携というのを行政としてしっかりやっていたけるといいかなと思いました。

以上です。

【大串会長】 なるほどね。だから今のお話でいうと、さっき4者協議会でちょっとある委員から聞いた話のほうは、社会教育、公民館の方だったので、今のようなお話は伝わっていないわけですね。

【岡田委員】 別々です、ルートが。

【大串会長】 なるほどね。

何か事務局のほうで今の質問といいますか御意見に何かございますか。

この前の視察の成果というのは、例えば社会教育か何かの……。

【内田館長】 すいません、大変申し訳ないんですけど、多分ちょっと視察についての考え方が岡田委員とずれているかなと思ってしまして。我々の側が視察の成果をどこで表すのかという今質問だったんですけども、我々の認識としては、委員の皆様に視察をしていただいて、それを参考にこの協議会の中でいろいろ生かしていただくと。我々は我々で職員で館長会だとかそういうところで視察に行っているんです。必要なところであれば、この間も職員視察に行ったりしているんですね。協議会で行っているのは、あくまで委員の皆様に、行きたいところに何の目的を持って行っていただいて、この協議の場で生かしていただく。そのための視察だと私どもは考えておりますので、これの成果を事務局がいつ頃表すというものではないと思っています。そこがちょっと考えが我々の側とずれちゃっているかなと。

【岡田委員】 はい、視察のあり方についての考え方の相違申し訳ありませんでした。

【内田館長】 ですから、都度都度、行きたいところはございませんかと、そういう意味でお尋ねしている次第なんです。だから、事務局で決めてくれという御意見もこの間あったんですけど、そういう意味でいうとちょっと何か違うかなと、個人的には思っていたんです。

【大串会長】 なるほどね、そうかそうかというね。

いいですか。

【岡田委員】 大変失礼いたしました。

【大串会長】 いやいや、そんなことはないです。

でも、私のようにちょっとたがが外れたような考えを持っている人間だと、今おっしゃっていただいた館長さんたちがどちらかに行かれているとか、そういうのも我々は知っておいたほうがいいかなと。あそこに行ったのねとか、そこで館長がどういう感想を持ったのかなとか、そういったこともちょっと分かると、僕としてはいいなと感じましたけど。なるほど、分かりました。

どうぞ、どうぞ。

【関本委員】 関本なんですけど。

昭島に行ってすごく勉強にもなったんですけど、それを委員としてどう生かすかと言われてたら、どうなんだろうと思うんですけど。小金井市に新しい図書館をつくるからというのだったらきっと、こうあってほしいとかいろいろ夢は膨らむんですけど、そうじゃないので、視察は何のためと私もちょっと思ったりして。何かそういう新しい図書館をつくる話とかには発展していかないんでしょうかね。いいものばかり見て、ああ、いいな、小金井市もこうなったらいいなとか思うんですけど、なかなかその話はなく、小金井市にもすてきな図書館が欲しいなって、ただひたすら思っちゃうばかりで。

【岡田委員】 だからその成果というのが、新しい図書館にならないんだったらどういう形なのかなと思ったことが質問の形になったんですけど。ではなくて、私たちが何か成果を出す……難しいですね。

【大串会長】 いや、だからその辺は難しい話で、やっぱり具体的に今我々が目の前にしている昭島ではなくて小金井の図書館があって、その中ではやっぱり図書館に対する見方があって、視察に行って今の昭島を見て小金井の図書館を考えてみたら、もう少し小金井の図書館はこういうところを考えたらいいんじゃないかとか、もうちょっとこのところは小金井の図書館でもやったらいいんじゃないかとか。同じことをやっても、昭島はああいうやり方でやって、小金井はこういうやり方をやっているんだけれども、もう少し小金井のやり方を変えたらいいんじゃないかとか。そういうあたりを期待しているんですよ。

【岡田委員】 要望を出していくということ。

【大串会長】 要望を出していくというか、この中でそういう議論をして、それで例えば図書館の評価のところだとか、子ども読書計画のところだとか、それから毎年、年度でサービス方針などをいろいろ考えていらっしゃるんだけど、そのところはどうかとか、それについてはどうだとか。いろいろと見方という点で参考になるところがかなりあったん

じゃないかと思うんですね。

ただまあ、ここの場でお互い、委員同士がそのことについて議論するともう少し深まるかなという感じがする。自分はあるところのことはこう思ったんだけどこの委員が言って、別の委員が、いや、私はそうじゃないよ、こういう点で私はあそこ見てたんだとか、そういったこと。だからある意味で、時間があればその辺を少し話してみることもいいのかなと個人的には思うんですね。

ただ、僕らも小金井の図書館の全てを詳しく個々のサービスまで見ているわけではないので、やっぱりその辺を疑問に思えばこの場で事務局に聞いて、こういうのはどうなのとか、あそこではこういうことを見たけれども小金井はやっているのかとか。そういうあたりで話を共有化させていただくといいんじゃないかと思うんですけどね。

【岡田委員】 アキシマエンスに伺ったとき、会議室みたいなところで皆さんで意見交換というか質問する時間を取られたと思うんですけど、あのときに私からも相当意見をさせていただいたし皆さんからも出ていたと思うんですね。この前頂いた報告書的な資料にはその部分がすごく弱かったなと私自身は思ったので、ああ、こういう感じの報告書でおしまいなんだと逆に思ってしまったんですけど。あの場では皆さんいろいろ御質問されていたかなと思いますし、例えば今でもいいなと思っているのは、読書通帳で通帳の仕組みになっていて、そこで1人ずつ個人の読書履歴が取れていっているというのは、やっぱり公共図書館ではなかなか考え方としては難しいと思うんですけども、子供さんなんかはすごくその辺は飛びついて喜ばれる部分だなと思うので、そういったところはぜひ取り入れていっていただきたいなと思っています。

【大串会長】 あの読書通帳は子供たちはえらく関心がある。

【岡田委員】 そうですか。

【大串会長】 実は読書通帳については文科省が実証実験をやったんだよね、そのときの座長を僕がやっていたんだけど。あれが子供たちの話の中で非常にいいのは、自分が読んだ本を人に紹介する場合も、どうしても話が漠然となっちゃう、タイトルが漠然として、それで図書館に来たりしている。読書通帳を持っていると、自分が読んだ本のタイトルが非常に明瞭に分かる。それを友達にも言うと、友達により正確に伝わって行って、友達もその本を自分で図書館に行って読もうかなと思ったときに、かなり正しいタイトルに近い記憶で残っているので、探し出せる確率が高くなることもある。だからあれはそういった点で、非常に読書の道具としてもいいなと。どうしても大人はあれを見て、何こんな本読んでいるの

と言う人も親御さんの中にはいるらしいんだけど、そういうのはやめていただいて。あれは自分は何冊読んだかお互いに自慢し合うということなんだよね。だけど、そういうことはあるよね。

ほかに何かございますか。

ということで、そういったことも含めて一応希望する点を出していただいて、ちょっと事務局で見て検討していただく。これは我々の問題意識を、要するにお互いに知り合うということでもあるし、お互いの図書館に対する見方とか考え方というのでも知り合うという点でもいいんじゃないかと思います。

では、ほかに意見がなければということで、いつまでに出すんでしたっけ。

【吉田庶務係長】 開催日の10日前までに出していただければと思います。

【大串会長】 10日前。

【小林委員】 10日は、祝日とかも入った10日前でいいんですか。

【吉田庶務係長】 祝日も含めて10日前で。

【小林委員】 土日も含めて純粹の10日前でいいということですね。

【吉田庶務係長】 土日含めて10日までいいです。

【大串会長】 今までやったことがないので、取りあえず1回やってみるといいのかなと思います。

そのほかに議題はございましたか。

【内田館長】 すいません。

3月の協議会、実は今回は第3回に当たっておりますので、年間で4回と一応予定をしているところなので、あと1回入れようと思えば入れられるんですが、皆様の日程の都合もある中でどうしようかなと事務局としても悩んでおります。御希望で特にお急ぎとか、事務局サイドからは急ぎの議案で3月にやらなくてはというのは今のところございませんので、やるとすれば皆様方から今説明させていただいた委員案が出た場合とは思いますが、ただ、それも大至急でというところがあれば、皆様の日程もあるのかもしれないんですが、そこまででなければ日程の都合上、今年に関しては第3回で終わりにするかなと考えているところですので、そこを御意見いただければと思うんですが。

【大串会長】 分かりました。

今の事務局の説明で、3月に協議会を開くかどうかということでございますけども、いかがでございましょうか。藤森委員もいかがでございましょうか、伊東委員もしあれば。

【藤森委員】 ただでさえ開催日数が少ないので、できれば開いたほうが良いと思うんです。皆さん予定があまりで忙しいんじゃないか、その点、日程調節がまた大変になるのかなと思って。それは事務局の方にお任せしようかと思いますが。

図書館協議会の話合いの内容というのは大きな問題を話し合うというのではなくても、例えば今日なんかでも、話しているとだんだん分かっていくことってあるんですよね。最初にこのことを話さなくちゃいけないという大きな1、2、3というのが例えばあったとしても、そうじゃなくても派生的に、ああ、このこともちょっと皆さんとお話したいなというようなことが出てきたりとかすることがあるので。できるだけ何回も何回も皆さんとお話をするというのが理想の姿だと思いますが。それもなかなか理想のとおりにはいかないの

で。

私の希望としては、なるべくたくさん会議は開いたほうが（音飛び）をよくするため、いろいろな方の意見をその都度おっしゃるということ。例えば視察に行き帰ってきても、もっともっとみんながどういう感想を持ったかということをお話し合う機会があったほうがよかったんじゃないかって思っていますよね。きちっとしたものにまとめて、こういう結果でしたというふうに見せていただくものも（音飛び）間に分かっていくことがあると思うので、やはり会議は大切だと思います。それで、無理のない程度になるべく会議の回数は増やしていただきたいというのが私の考えです。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございます。

ほかの委員はいかがでございますか。まだ御意見をいただいていない委員の方もいらっしゃるし、そういう方にもぜひ。林委員はいかがでしょうか。ほかのことでも結構でございますけれども。

【林委員】 ありがとうございます。

私は以前にも、委員長先生がおっしゃられたように、大学は今の時期というか本質的に通年通してとても忙しいんですが、特に1月、2月は超多忙で、3月は若干余裕があるかと考えております。何か突発的なことが入るかもしれませんが。

意見交換というのは非常に重要だと思います。一方で、私たちは正直なところ、いつ何が生じるか分からないので、あまり私などの日程を気にせずに決めていただいて、そのとき参加できれば参加させていただきたいと思っているところでございます。

全く日程合わずで、これまで視察にも全然行かせていただけてないという状況です。私は

大学時代の専攻の一つは図書館情報学で、専門図書館員もしましたが、実際その後は研究職のため、利用者の立場からということでこれまでコメントさせていただいています。

小学校とか中学校とかなどでもタブレットを使ったり、いろんなオンライン使ったりという状況かと思います。社会人になればパソコンやインターネット等を使わない日はないわけですし、そういう意味では小さい頃から、情報倫理教育はしっかりしなければいけないということは十分承知しながらも、毎日鉛筆と紙を使う、それぐらいの意識パソコンやインターネット等使っていくのがいいのかなと思っているところです。

以上でございます。

【大串会長】 ありがとうございました。

ほかの委員はいかがでございますか。

【伊東委員】 よろしいですか。

【大串会長】 どうぞ。

【伊東委員】 私も今、林先生がおっしゃるような状況で委員をお引き受けしているので、参加できないこともあるので大変申し訳なく思っているところですが。

先ほど藤森委員がおっしゃっていたように、そういう趣旨もすごくよく分かるんですね。先ほど事務局のほうから視察に関してのお話がありましたが、委員が視察（音飛び）形成していくというようなお話があったんですけども、私はその趣旨についてはあまりよく理解していなかったので大変申し訳なく思っていますけれども。もしそういうことであれば、視察をしてその後に委員同士が懇談をする場とか、あるいは委員同士で意見交換をしたものを何らかの形にもっていくとかというような機会（音飛び）そういう気はしています。ただ行けばいいというだけのことではないと。事務局サイドの方々にそういう（音飛び）あれば、その事前、当日、事後という形の日程を組んでいく必要があるのではないかなと思います。そういう意味では回数というのは現在のままではなかなか、事務局が視察に対する考え方を実現するための日程としてはちょっと少ないのかなと思っています。

あと、先ほど藤森委員が冒頭にもおっしゃっていましたが、大体年間を通して毎年やっていることにそんなに変わりがないのであれば、その年間計画みたいなものを出していただいて、どの時期にはどのような議案があるとか、そのような計画をしていただければ、委員になられた年度が1年目の方でも見通しを持ててこの協議会に参加できるのではないかなと思っています。何年か経験しないと図書館協議会が何をやっているのか分からないというようなことでは、いろいろな御意見をなかなか言いづらいと思いますので、その

辺りについては工夫をしていただいたらいいのではないかなと思います。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございました。

非常にいい御意見でありありがとうございます。今すぐに生かせるという、次期から参考にさせていただくことになると思いますけれども。

こちらにいらっしゃる方で、いかがでございますか。

【白井委員】 今日の午前中、4者合同会議に出させていただいて、ほかの公民館ですとか社会教育の委員の方からとてもいい意見とかアイデアをいただきました。

やっぱり我々図書館協議会が何をしているか、図書館よくするためだということで、当然、新しい図書館がぼんとできれば、それはいいことができるかもしれませんが、今やっぱり問題なのはそういうハード面というよりもソフト面、いかに使い切るかということだと思いますので、そういうところでいろんなアイデアをまだ出せるんじゃないかと。そういうときに視察というのを利用して、ほかの市、自治体での活動、それから、今、4者合同会議みたいところで、今度は公民館だとか社会教育だとか、小金井市の中でも別の団体がやっぱり別のことを考えている。でもそこにはきっと共通したことがすごくたくさんあるんですね、大きく言えば全部社会教育ですから。社会教育をする上で、図書館の役割、公民館の役割、それがクロスするような役割というのがあると思うので、そういうのを協議できる場になればいいと思います。

そういう意味でちょっと私も、この1年半ぐらいここに参加させていただきましたけれども、どうもこの図書館協議会は何をするところというのがいまだによく分かっていないです。図書館協議会としての成果を1年を通してどう出していくかというのを設計し直して運営するのがいいのかなと感じております。そういう意味でも、さっき伊東先生がおっしゃったように、年間で大体この時期にはこれをやろう、この時期に視察をして、その結果を基にまた何か協議会の委員の中で議論しようという、そういう年間スケジュールを立てるのがいいんじゃないかなと私も思いました。

短期的には、じゃあ3月はどうするんだというお話がありますが、それはどちらでも結構ですし、参加できれば参加したいと思います。

【大串会長】 ありがとうございました。

ほかの委員はいかがですか。

【小林委員】 私も視察については、やっぱり私たちが今後この図書館協議会などで活か

していくのであれば、もう少し委員の中で話し合う時間ですとか、どうやって学んだことをこの協議会で話し合い反映できればと思うんですけれども、最初の導入からの目的意識ととも高い視点でもう少し持っていけるほうが、せっかく予算を使うものなので活かしたかなと思います。次年度、次期にするときは、その後どうするのかという場を設けていただけるとよりよいかなと思います。

この図書館協議会自体も、いろいろなところを諮っているいろいろな意見をいただくんですけど、私たちの意見がどういうふうに反映されたか少し見えにくいかなと少し感じているところがあるので、もう少し連携して、私たちもいい意見を出して、それがこの市の図書館運営ですとか学校図書館とか、私はPTAの代表みたいなところで来ているので、もうちょっとそことの連携ができると、よりよい関係が生まれてくるのかなと思います。

3月の会議の開催については、いろいろ年度末というところもあるので、それは状況によって、あとは議題などがあるのかなのかというところで開催の意義とかもあると思いますし、次年度いつ頃開催するのかというところによっても変わってくるかと思います。そちらのスケジュールもお示しいただいた上で検討できればと思います。

以上です。

【大串会長】 ありがとうございました。

いかがでございますか。何かございますか。

【関本委員】 そうですね、その連携の仕方、図書館協議会はどういうふうに図書館の運営に関わっていったらいいのか。何かいっぱい反省とか、いろいろ計画を見せていただいて、皆さんすごい努力されていてすごいなとも思っているんです。文庫の立場なんですけど、文庫は文庫で頑張っているんです。図書館との連携をもうちょっと深めるために、私がきっと意見を言えればいいんだなと思ったりいろいろするので、何かもうちょっと私自身もよく考えて図書館の力になれるよう意見を出していきたいなと思うので、みんなで話し合う場を大事にしていけたらいいんじゃないかなと思います。

【大串会長】 ありがとうございます。それでは、皆さんからも御意見いただいて、何となく雰囲気として今期の最後の会という雰囲気が漂っているんですけれども。一応、今まで貴重な御意見が出ましたので、ぜひ次期にはこれをまた生かしていただいて、今度はもう少し図書館協議会は何をすることなのかということが目に見える形でお示しいただいたほうがいいんじゃないかなと思いますので、その辺は考えていただくとして。

それで、最後のお話の3月にやるかどうかというのは、やっぱりこれは最終的に事務局の

ほうでいろいろと考えていただいて、それで皆さん方の日程のことも配慮していただいて、もしこういふことでやることが必要であれば開催するし、特にないということであれば、意見交換のこともございますけれども、ちょうど年度末で皆さんお忙しいときなので開かないで、次期に今日お話しいただいたようなことを生かしていくということにしたほうがよろしいんじゃないかなと思います。いかがでございましょうか、そういうことで。私と事務局と話して最終的に判断させていただくというふうにしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

もし御意見がなければ、今のような形で最終的な詰めをさせていただきたいなと思います。では、よろしくお願いいたします。

今日の議題としてはお話しすることは、私の手元にあるものはこれで一応終わり、終了ということなので。

事務局のほうは何かほかに。

【内田館長】 特にございません。

【大串会長】 そうですか。

では、本日の会議は以上で締めさせていただきます。どうも長い間いろいろありがとうございました。

— 了 —